

Jdg

Chapter 11

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

זִנְיָהּ אִשָּׁה בֶּן-וְהוּא חַיִל גִּבּוֹר הָיָה הַגִּלְעָדִי וַיִּפְתָּח 1
遊女 女の の-息子 そして-彼は 勇士 勇敢な であった ギルアデ-人は さて-エフタ
H2181 H0802 H1931 H2428 H1368 H1961 H1569 H3316
וַיִּזְדָּבַר עָלָיו וַיִּזְדָּבַר עָלָיו וַיִּזְדָּבַר עָלָיו וַיִּזְדָּבַר עָלָיו
エフタ [を] ギルアデ そして-生んだ
H3316 H0853 H1568 H3205

さてギレアデびとエフタは強い勇士であったが遊女の子で、エフタの父はギレアデであった。

וַתֵּלֶד וַתֵּלֶד וַתֵּלֶד וַתֵּלֶד וַתֵּלֶד 2
その-妻 の-息子たち そして-成長した 息子たちを 彼に ギルアデ の-妻 そして-産んだ
H0802 H1431 H1568 H0802 H3205
וַיִּזְדָּבַר עָלָיו וַיִּזְדָּבַר עָלָיו וַיִּזְדָּבַר עָלָיו וַיִּזְדָּבַר עָלָיו
私たちの-父 の-家-で 相続しない ない 彼に そして-言った エフタ [を] そして-追い出した
H0001 H5157 H3808 H0559 H3316 H0853 H1644
וְאַתָּה אַחֲרַת אִשָּׁה בֶּן-כִּי
あなたは 別の 女の の-息子 なぜなら
H0312 H0802

ギレアデの妻も子供を産んだが、その妻の子供たちが成長したとき、彼らはエフタを追い出して彼に言った、「あなたはほかの女の産んだ子だから、わたしたちの父の家を継ぐことはできません」。

וַיִּתְּלַקְטוּ וַיִּתְּלַקְטוּ וַיִּתְּלַקְטוּ וַיִּתְּלַקְטוּ 3
そして-集まった トブ の-地-に そして-住んだ 彼の-兄弟たち の-前から エフタ そして-逃げた
H3950 H2897 H0776 H3427 H0251 H6440 H3316 H1272
וְאַל-וַיִּפְתָּח אֲנָשִׁים רַיָּקִים
— 彼と-共に そして-出て行った ならず者の 人々が エフタ [に]
H3318 H7386 H0376 H3316 H0413

それでエフタはその兄弟たちのもとから逃げ去って、トブの地に住んでいると、やくざ者がエフタのもとに集まってきて、彼と一緒に外へ出て略奪を事としていた。

וַיִּהְיֶה וַיִּהְיֶה וַיִּהְיֶה וַיִּהְיֶה 4
イスラエル [と] アンモン の-子ら そして-戦った 日々-の後 そして-なった
H3478 H5983 H3117 H1961

日がたって後、アンモンの人々はイスラエルと戦うことになり、

וַיִּזְכְּרוּ וַיִּזְכְּרוּ וַיִּזְכְּרוּ וַיִּזְכְּרוּ 5
の-長老たち そして-行った イスラエル [と] アンモン の-子ら 戦った 時-に そして-なった
H2205 H3212 H3478 H5983 H1961
וַיִּזְכְּרוּ וַיִּזְכְּרוּ וַיִּזְכְּרוּ וַיִּזְכְּרוּ
トブ の-地-から エフタ [を] 連れ戻すために ギルアデ
H2897 H0776 H3316 H0853 H3947 H1568

アンモンの人々がイスラエルと戦ったとき、ギレアデの長老たちは行ってエフタをトブの地から連れてこようとして、

וּנְלַחֲמָהּ לְקַצֵּין לָנוּ וְהָיִיתָ לָכֵה לְיַפְתָּח וַיֹּאמְרוּ 6
 そして-戦おう 指揮者-に 私たちの そして-なってくれ 来てくれ エフタ-に そして-言った
[H0853](#) [H7101](#) [H1961](#) [H3212](#) [H3316](#) [H0559](#)

עֲמוֹן: בְּנֵי
 アンモン の-子ら-に対して
[H5983](#)

エフタに言った、「きて、わたしたちの大将になってください。そうすればわたしたちはアンモンの人々と戦うことができます」。

אוֹתִי שָׂנֵאתָם אַתָּם הֲלֹא גִּלְעָד לְזִקְנֵי יַפְתָּח וַיֹּאמְרוּ 7
 私を 憎んだのは あなたがたが ではなかったか ギルアデ の-長老たち-に エフタ そして-言った
[H0853](#) [H8130](#) [H3808](#) [H1568](#) [H2205](#) [H3316](#) [H0559](#)

צָר כְּאֶשֶׁר עֲתָה אֵלַי בָּאתֶם וּמָדוּעַ אָבִי מִבֵּית וַתִּגְרְשׁוּנִי
 苦しい の-時に 今 私の-もとに 来たのか なぜ 私の-父 の-家-から そして-追い出した-私を
[H6258](#) [H0413](#) [H0935](#) [H4069](#) [H0001](#) [H1644](#)

לָכֵם:
 あなたがたに

エフタはギレアデの長老たちに言った、「あなたがたはわたしを憎んで、わたしの父の家から追い出したではありませんか。しかるに今あなたがたが困っている時とはいえ、わたしのところに来るとはどういうわけですか」。

אֵלַיךָ שָׁבְנוּ עֲתָה לָכֵן יַפְתָּח אֶל- גִּלְעָד זִקְנָיו וַיֹּאמְרוּ 8
 あなたの-もとに 戻って来た 今 だから エフタ [に] ギルアデ の-長老たち そして-言った
[H0413](#) [H7725](#) [H6258](#) [H3316](#) [H0413](#) [H1568](#) [H2205](#) [H0559](#)

לָנוּ וְהָיִיתָ עֲמוֹן בְּנֵי וּנְלַחֲמָתָהּ עִמָּנוּ וְהִלַּכְתָּ
 私たちの そして-なってくれ アンモン の-子ら-に対して そして-戦って 私たちと-共に そして-行って
[H1961](#) [H5983](#) [H1980](#)

גִּלְעָד: יְשֻׁבָיו לְכֹל לְרֹאשׁ
 ギルアデ 住む者たち-の すべて-の 頭-に
[H1568](#) [H3427](#) [H3605](#)

ギレアデの長老たちはエフタに言った、「それでわたしたちは今、あなたに帰ったのです。どうぞ、わたしたちと一緒に行って、アンモンの人々と戦ってください。そしてわたしたちとギレアデに住んでいるすべてのもののかしらになってください」。

אוֹתִי אַתָּם מְשִׁיבִים אִם- גִּלְעָד זִקְנֵי אֶל- יַפְתָּח וַיֹּאמְרוּ 9
 私を あなたがたが 連れ戻す-なら もし ギルアデ の-長老たち [に] エフタ そして-言った
[H0853](#) [H7725](#) [H1568](#) [H2205](#) [H0413](#) [H3316](#) [H0559](#)

אֲהִיָּה אֲנִכִּי לְפָנַי אוֹתָם יְהוּהָ וְנָתַן עֲמוֹן בְּנֵי לְהִלָּחֵם
 なる 私が 私の-前に 彼らを 主が そして-与えるなら アンモン の-子ら-に対して 戦うために
[H1961](#) [H0595](#) [H6440](#) [H0853](#) [H3068](#) [H5414](#) [H5983](#) [H5983](#)

לְרֹאשׁ: לָכֵם
 頭-に あなたがたの

エフタはギレアデの長老たちに言った、「もしあなたがたが、わたしをつれて帰って、アンモンの人々と戦わせるとき、主が彼らをわたしにわたされるならば、わたしはあなたがたのかしらとなりましょう」。

10
 בִּינוּתֵינוּ שְׁמַע יְהוָה יְהוָה אֶל-גִּלְעָד זְקֵנֵי-וַיֹּאמְרוּ
 私たちの-間に 聞く-者 なる 主が エフタ [に] ギルアデ の-長老たち そして-言った
[H0996](#) [H8085](#) [H1961](#) [H3068](#) [H3316](#) [H0413](#) [H1568](#) [H2205](#) [H0559](#)

אִם-לֹא כִן נַעֲשֶׂה: קְדַבְרֶךָ
 行ふ そのように あなたの-言葉-の通りに ない もし
[H1697](#) [H3808](#)

ギレアデの長老たちはエフタに言った、「主はあなたとわたしたちの間の証人です。わたしたちは必ずあなたの言われるとおりにしましょう」。

11
 וַיֵּלֶךְ יַפְתָּח עִם-זְקֵנֵי גִלְעָד וַיִּשְׁימוּ אוֹתוֹ עֲלֵיהֶם
 彼らの上-に 彼を 民は そして-立てた ギルアデ の-長老たち [と] エフタ そして-行った
[H0853](#) [H1568](#) [H2205](#) [H3316](#) [H3212](#)

וְלִקְצִין לְרֹאשׁ וַיְדַבֵּר יַפְתָּח אֶת-כָּל-דְּבָרָיו לְפָנָיו
 の-前-で 彼の-言葉を すべて-の [を] エフタ そして-語った そして-指揮者-として 頭-として
[H6440](#) [H1697](#) [H3605](#) [H0853](#) [H3316](#) [H1696](#) [H7101](#)

יְהוָה בְּמִצְפָּה: פ
 主 ミツパ-で
[H4709](#) [H3068](#)

そこでエフタはギレアデの長老たちと一緒にいった。民は彼を立てて自分たちのかしらとし、大将とした。それでエフタはミツパで、自分の言葉をことごとく主の前に述べた。

12
 וַיִּשְׁלַח יַפְתָּח מַלְאָכִים אֶל-מֶלֶךְ בְּנֵי-עַמּוֹן לֵאמֹר מַה-לִּי
 彼らに 何の 言つて アンモン の-子ら の-王 [に] 使者たちを エフタ そして-遣わした
[H4100](#) [H0559](#) [H5983](#) [H4428](#) [H0413](#) [H4397](#) [H3316](#) [H7971](#)

וְלָמָּה בָּאתְּ אֵלַי לְהִלָּחֵם בְּאֶרְצִי:
 私の-地-で 戦うために 私の-もとに 来たのか なぜ そして-あなたに
[H0776](#) [H0413](#) [H0935](#)

かくてエフタはアンモンの人々の王に使者をつかわして言った、「あなたはわたしとなんのかかわりがあって、わたしのところへ攻めてきて、わたしの国と戦おうとするのですか」。

13
 וַיֹּאמֶר מֶלֶךְ בְּנֵי-עַמּוֹן אֶל-מַלְאָכָיו יַפְתָּח כִּי-לָקַח
 の-王 の-子ら の-使者たち [に] アンモン の-子ら の-王 そして-言った
[H3316](#) [H4397](#) [H0413](#) [H5983](#) [H4428](#) [H0559](#)

וַיִּשְׂרֹאֵל אֶת-אֶרְצִי בְּעֹלוֹתַי מִמִּצְרַיִם מֵאֶרְצוֹן וְעַד-יַבֹּק
 私の-地を [を] 私の-地を 私に 上つて来た-時に エジプト-から アルノン-から ヤボク
[H0776](#) [H0853](#) [H3478](#) [H4714](#) [H5927](#) [H0769](#) [H5704](#) [H2999](#)

וְעַד-יַבֹּק הַיַּרְדֵּן וְעַתָּה הָשִׁיבָה אֹתָהֶן בְּשָׁלוֹם:
 そして-今 ヨルダン そして-まで 平和-に それらを 返せ
[H7965](#) [H0853](#) [H7725](#) [H6258](#) [H3383](#) [H5704](#)

アンモンの人々の王はエフタの使者に答えた、「昔、イスラエルがエジプトから上ってきたとき、アルノンからヤボクに及び、またヨルダンに及ぶわたしの国を奪い取ったからです。それゆえ今、穏やかにそれを返しなさい」。

14
 וַיֹּסֶף יַפְתָּח עוֹד וַיֹּסֶף אֶל-מַלְאָכָיו וַיִּשְׁלַח אֹתָם אֶת-עַמּוֹן
 エフタは さらに そして-再び アンモン の-子ら の-王 [に] 使者たちを そして-遣わした
[H3316](#) [H5750](#) [H3254](#) [H5983](#) [H4428](#) [H0413](#) [H4397](#) [H7971](#)

エフタはまた使者をアンモンの人々の王につかわして、

20

בְּנִבְלוֹ	עָבַר	יִשְׂרָאֵל	אֶת־	סִיחֹן	הָאֱמִינִי	וְלֹא־
彼の-領土-を	通ること-を	イスラエルが	[を]	シホンは	信じなかった	しかし-ない
H1366		H3478	H0853	H5511	H0539	H3808

וַיִּלָּחֶם	בְּיַהֲצֵהָ	וַיַּחַנּוּ	עַמּוֹ	כָּל־	אֶת־	סִיחֹן	וַיֵּאַסְףָּ
そして-戦った	ヤハツ-に	そして-陣を張った	彼の-民	すべて-の	[を]	シホンは	そして-集めた
	H3096	H2583		H3605	H0853	H5511	H0622

עַם־ יִשְׂרָאֵל׃
 イスラエル [と]
[H3478](#)

ところがシホンはイスラエルを信ぜず、その領域を通らせないばかりか、かえってすべての民を集めてヤハツに陣を取り、イスラエルと戦いましたが、

21

עַמּוֹ	כָּל־	וְאֶת־	סִיחֹן	אֶת־	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי־	יְהוָה	וַיִּתֵּן
彼の-民	すべて-の	そして-[を]	シホン	[を]	イスラエル	の-神	主が	そして-与えた
	H3605	H0853	H5511	H0853	H3478	H0430	H3068	H5414

אֶרֶץ	כָּל־	אֶת	יִשְׂרָאֵל	וַיִּירֶשׁ	וַיַּכּוּם	יִשְׂרָאֵל	בְּיַד
の-地	すべて-の	[を]	イスラエルは	そして-占領した	そして-打った	イスラエル	の-手-に
H0776	H3605	H0853	H3478	H3423	H5221	H3478	H3027

וְהָאֱמֹרִי
 住む者の アモリ人
 וְהָאֶרֶץ
 その-地
 וְהַיָּאֵל
 その

イスラエルの神、主はシホンとそのすべての民をイスラエルの手にわたされたので、イスラエルは彼らを撃ち破って、その土地に住んでいたアモリびとの地をことごとく占領し、

22

הַיַּבֹּק	וְעַד־	מֵאֲרֻנּוֹן	הָאֱמֹרִי	וְנִבְלוֹ	כָּל־	אֶת	וַיִּירֶשׁוּ
ヤボク	そして-まで	アルノン-から	アモリ人	の-領土	すべて-の	[を]	そして-占領した
H2999	H5704	H0769	H0567	H1366	H3605	H0853	H3423

וּמִן־ הַמִּדְבָּר
 荒野
 וְעַד־ הַיַּרְדֵּן׃
 そして-まで
 ヨルダン

アルノンからヤボクまでと、荒野からヨルダンまで、アモリびとの領域をことごとく占領しました。

23

עַמּוֹ	מִפְּנֵי	הָאֱמֹרִי	אֶת־	הוֹרִישׁ	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	וְיְהוָה	וְעַתָּה
その-民	の-前-から	アモリ人-を	[を]	追い払った	イスラエル	の-神	主	そして-今
	H6440	H0567	H0853	H3423	H3478	H0430	H3068	H6258

וְיִשְׂרָאֵל
 イスラエル
 וְאַתָּה
 そして-あなたが
 תִּירֶשְׁנֻהוּ׃
 それを-占領するのか

このようにイスラエルの神、主はその民イスラエルの前からアモリびとを追い払われたのに、あなたはそれを取ろうとするのですか。

24

וְאַתָּה	תִּירֶשׁ	אוֹתוֹ	אֱלֹהֶיךָ	כְּמוֹשׁ	יֹרִישֶׁנָּה	אֲשֶׁר	אֶת	הֲלֹא
そして-[を]	占領する	それを	あなたの-神	ケモシュが	与える	ところの	[を]	ではないか
H0853	H3423	H0853	H0430	H3645	H3423		H0853	H3808

כָּל־	אֲשֶׁר	הוֹרִישׁ	יְהוָה	אֱלֹהֵינוּ	אוֹתוֹ	מִפְּנֵינוּ	נִירֶשׁ׃
すべて-の	ところの	追い払った	主が	私たちの-神	私たちに-前-から	私たちの-前-から	占領する
H3605		H3423	H3068	H0430	H0853	H6440	H3423

あなたは、あなたの神ケモシがあなたに取らせるものを取らないのですか。われわれはわれわれの神、主がわれわれの前から追い払われたものの土地を取るのです。

時に主の霊がエフタに臨み、エフタはギレアデおよびマナセをとって、ギレアデのミツパに行き、ギレアデのミツパから進んでアンモンの人々のところに行った。

אֶת־ תִּתֶּן נָתַן אִם־ וַיֹּאמֶר לַיהוָה נָדַר יִפְתָּח וַיִּדַר 30
 [を] 与える 確かに-与えるなら もし そして-言った 主-に 誓い-を エフタ そして-誓った
[H0853](#) [H5414](#) [H5414](#) [H0559](#) [H3068](#) [H5088](#) [H3316](#) [H5087](#)

בְּיָדִי: עֲמוֹן בְּנֵי
 私の-手-に アンモン の-子ら
[H3027](#) [H5983](#)

エフタは主に誓願を立てて言った、「もしあなたがアンモンの人々をわたしの手にわたされるならば、

בְּשׁוּבִי לְקִרְאָתִי בֵּיתִי מִדְּלָתַי יֵצֵא אֲשֶׁר הַיּוֹצֵא וַיְהִי 31
 私が-戻る-時 私を-迎えに 私の-家 の-扉から 出て来る ところの 出て来る-者は そして-なる
[H7725](#) [H7125](#) [H3318](#) [H3318](#) [H1961](#)

וְהָעֲלִיתָהּ לַיהוָה וַיְהִי עֲמוֹן מִבְּנֵי בְּשָׁלוֹם
 そして-捧げる-それを 主の-もの-に そして-なる アンモン の-子ら-から 平和-に
[H5927](#) [H3068](#) [H1961](#) [H5983](#) [H7965](#)

פ עוֹלָה:
 一 全焼の-献げ物-として

わたしがアンモンの人々に勝って帰るときに、わたしの家の戸口から出てきて、わたしを迎えるものはだれでも主のものとし、その者を燔祭としてささげましょう」。

וַיִּתְּנֵם לָקָם לְהִלָּחֵם עֲמוֹן בְּנֵי אֶל־ יִפְתָּח וַיַּעֲבֹר 32
 そして-与えた-彼らを 彼ら-と 戦うために アンモン の-子ら [へ] エフタ そして-渡った
[H5414](#) [H5983](#) [H0413](#) [H3316](#)

בְּיָדִי: יְהוָה
 彼の-手-に 主が
[H3027](#) [H3068](#)

エフタはアンモンの人々のところに進んで行って、彼らと戦ったが、主は彼らをエフタの手にわたされたので、

וְעַד עִיר עָשְׂרִים מִנִּית בּוֹאֵה וְעַד־ מְעֹרְעֵר וַיִּכֶם 33
 そして-まで の-町 二十 ミニト 来る-ところの そして-まで アロエル-から そして-打った
[H5704](#) [H6242](#) [H4511](#) [H0935](#) [H5704](#) [H6177](#) [H5221](#)

בְּנֵי מִפְּנֵי עֲמוֹן בְּנֵי וַיִּכְנָעוּ מְאֹד גְּדוֹלָה מְכָה כְּרָמִים אֲבֵל 33
 の-子ら の-前-で アンモン の-子ら そして-屈服した 非常に 大きな 打撃で アベル・ケラミム
[H6440](#) [H5983](#) [H3665](#) [H3966](#) [H4347](#) [H0064](#)

פ יִשְׂרָאֵל:
 一 イスラエル
[H3478](#)

アロエルからミンニテの附近まで、二十の町を撃ち敗り、アベル・ケラミムに至るまで、非常に多くの人を殺した。こうしてアンモンの人々はイスラエルの人々の前に攻め伏せられた。

לְקַרְאָתוֹ	יֵצְאת	בִּתּוֹ	וַהֲנֶה	בֵּיתוֹ	אֶל-	הַמִּצְפָּה	יִפְתָּח	וַיָּבֵא	34
彼を-迎えに	出て来た	彼の-娘が	そして-見よ	彼の-家	[に]	ミツパ-に	エフタ	そして-来た	
H7125	H3318	H1323	H2009		H0413	H4709	H3316	H0935	
בֶּן	מִמֶּנּוּ	לוֹ	אֵין-	יְחִידָה	הִיא	וְרַק	וּבְמַחְלוֹת	בְּתַפִּים	
息子	彼女の-他に	彼に	いない	一人-娘	彼女は	しかし-ただ	そして-踊り-ながら	小太鼓-を打ち	
			H0369	H3173	H1931	H7535	H4246	H8596	
								אִרְ- בַּת: 娘 あるいは H1323	

やがてエフタはミツパに帰り、自分の家に来ると、彼の娘が鼓をもち、舞い踊って彼を出迎えた。彼女はエフタのひとり子で、ほかに男子も女子もなかった。

אָהָה	וַיֹּאמֶר	בְּגָדָיו	אֶת-	וַיִּקְרַע	אוֹתָהּ	כִּרְאוֹתָו	וַיְהִי	35	
ああ	そして-言った	彼の-衣を	[を]	そして-引き裂いた	彼女を	見た-時	そして-なった		
H0162	H0559		H0853	H7167	H0853	H7200	H1961		
וְאֲנֹכִי	בְּעֵבְרִי	הַנִּית	וְאֵת-	הַכְּרַעְתָּנִי	הַכְּרַע	בְּתִי			
そして-私は	私の-悩み-の種に	なった	そして-あなたが	打ちのめした-私を	打ちのめす	私の-娘よ			
H0595	H5916	H1961		H3766	H3766	H1323			
		לְשׁוֹב:	אוּכַל	וְלֹא	יְהוָה	אֶל-	פִּי	פָּצִיתִי-	
		取り消すことが	できない	そして-ない	主	[に]	私の-口を	開いた	
		H725	H3201	H3808	H3068	H0413	H6310	H6475	

エフタは彼女を見ると、衣を裂いて言った、「ああ、娘よ、あなたは全くわたしを打ちのめした。わたしを悩ますものとなった。わたしが主に誓ったのだから改めることはできないのだ」。

עֲשֵׂה	יְהוָה	אֶל-	פִּיךָ	אֶת-	פָּצִיתָהּ	אָבִי	אֵלָיו	וַתֹּאמֶר	36
してください	主	[に]	あなたの-口を	[を]	開いた	私の-父よ	彼-に	そして-言った	
	H3068	H0413	H6310	H0853	H6475	H0001	H0413	H0559	
נִקְמֹת	יְהוָה	לְךָ	עָשָׂה	אֲשֶׁר	אַחֲרָי	מִפִּיךָ	יֵצֵא	כְּאֲשֶׁר	לִי
復讐-を	主が	あなた-に	なした	ところの	の-後	あなたの-口から	出た	の-通りに	私-に
H5360	H3068					H6310	H3318		
						עֲמוֹן:	מִבְּנֵי	מֵאֲבִיךָ	
						アンモン	の-子ら-から	あなたの-敵から	
						H5983		H0341	

娘は言った、「父よ、あなたは主に誓われたのですから、主があなたのために、あなたの敵アンモンの人々に報復された今、あなたが言われたとおりにわたしにしてください」。

הֲרַפָּה	הַזֶּה	הַדָּבָר	לִי	יַעֲשֵׂה	אָבִיךָ	אֶל-	וַתֹּאמֶר	37
放して-ください	この	この-こと	私-に	なされて-ほしい	彼女の-父	[に]	そして-言った	
H7503	H2088	H1697			H0001	H0413	H0559	
הַהָרִים	עַל-	וַיֵּרְדֵנִי	וְאֶלְכָה		חַדָּשִׁים	שְׁנַיִם	מִמֶּנִּי	
山々	の-上-に	そして-下って行きます	そして-行かせてください		月	二	私-から	
H2022		H3381	H3212		H2320	H8147		
		(וְרֵעוֹתַי:	[וְרֵעֵיתִי]	אֲנֹכִי	בְּתוּלִי	עַל-	וְאֶבְכֶה	
		私の-友人たち	私の-友人たち	私と	私の-処女	の-上-で	そして-泣きます	
		H7453	H7453	H0595	H1331		H1058	

娘はまた父に言った、「どうぞ、この事をわたしにさせてください。すなわち二か月の間わたしをゆるし、友だちと一緒に行って、山々をゆきめぐり、わたしの処女であることを嘆かせてください」。

היא	וּתְלַךְ	חַדְשִׁים	שְׁנַי	אוֹתָהּ	וַיִּשְׁלַח	לָכִי	וַיֹּאמֶר	38
彼女は	そして-行った	月	二	彼女を	そして-送り出した	行け	そして-言った	
H1931	H3212	H2320	H8147	H0853	H7971	H3212	H0559	
	הַהָרִים:	עַל-	בְּתוּלָהּ	עַל-	וַתִּבְךְּ	וַרְעוּתֶיהָ		
山々	の-上-で	彼女の-処女-を	の-上-で	そして-泣いた	そして-彼女の-友人たち			
H2022		H1331		H1058	H7464			

エフタは「行きなさい」と言って、彼女を二か月の間、出してやった。彼女は友だちと一緒に行って、山の上で自分の処女であることを嘆いたが、

וַיַּעַשׂ	אָבִיהָ	אֶל-	וַתָּשָׁב	חַדְשִׁים	שְׁנַי	וּמְקַץ	וַיְהִי	39
そして-行った	彼女の-父	[に]	そして-戻った	月	二	の-終わり-に	そして-なった	
	H0001	H0413	H7725	H2320	H8147	H7093	H1961	
אִישׁ	יָדְעָהּ	לֹא-	וְהָיָא	נָדָר	אֲשֶׁר	נְדָרוֹ	אֶת-	
男を	知らなかった	ない	そして-彼女は	誓った	ところの	彼の-誓い	[を] 彼女-に	
H0376	H3045	H3808	H1931	H5087		H5088	H0853	
					בְּיִשְׂרָאֵל:	חֻק	וַתְהִי-	
					イスラエル-で	慣習-に	そして-なった	
					H3478	H2706	H1961	

二か月の後、父のもとに帰ってきたので、父は誓った誓願のとおりにならなかつた。彼女はついに男を知らなかつた。

יִפְתָּח	לְבַת-	לְתַנּוֹת	יִשְׂרָאֵל	בָּנוֹת	תֵּלְכָנָהּ	יָמֶיהָ	וּמִיָּמִים	40
エフタ	の-娘-のために	嘆く-ために	イスラエル	の-娘たちが	行く	年	年-ごとに	
H3316	H1323	H8567	H3478	H1323	H3212	H3117	H3117	
				וּ	בְּשָׁנָה:	יָמִים	אַרְבַּעַת	
				一	年-に	日	四	הַגִּלְעָדִי
					H8141	H3117	H0702	ギルアデ-人
							H1569	

これによって年々イスラエルの娘たちは行って、年に四日ほどギレアデびとエフタの娘のために嘆くことがイスラエルのならわしとなった。